

【米国】

1-2 月の市場動向トピックス

- 2021年1月の訪日米国人数は、前年同月比 99.0%減の 1,200 人であった。
- 2021年2月の訪日米国人数は、前年同月比 99.5%増の 400 人であった。
- 1・2 月ともに、2020 年 4 月からの日本政府による入国制限措置が継続している。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言が 1 月 7 日に発出されたことに伴い、「国際的な人の往来再開に向けた段階的措置」についても、1 月 14 日以降、緊急事態解除宣言が発せられるまでの間、運用が停止されており、これらの措置が 1・2 月の実績値に大きな影響を及ぼした。

1-2 月の主なプロモーション活動

1. ニューヨーク事務所とロサンゼルス事務所では、2021 年 2 月、BtoB 向けの商談会である「Japan Showcase」を計 9 回開催した。例年、米国各地で実施している商談会であるが、2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン開催とした。オンラインでの開催は初めての試みであったが、延べ 370 名のエージェント(バイヤー)の皆さまにご参加いただき、コロナ終息後の訪日旅行需要回復のきっかけづくりとして非常に有用な機会となった。例年のオフライン開催では開催地周辺のエージェントの方しか参加できない場合が多かったが、オンラインでの開催により、開催地から距離が遠く、参加が難しいエージェントの方にも参加いただくことができた。日本に特化した情報を入手できるイベントが米国内で限られていることもあり、商談会実施後のアンケート結果では、「日本の最新情報だけでなくウィズコロナ・アフターコロナにおける各サプライヤーの取組や新たな訪日旅行商品を知ることできた貴重な機会となった」等、好意的な意見を多くいただくことができた。また、今回は現地時間に合わせた開催であったものの、日本からも多くの地方自治体、旅行会社等にセラーとしてご参加いただいた。現在、コロナ禍で海外渡航が難しい状況ではあるが、多くの方に参加いただいたことやエージェントの多くが訪日旅行商品に関する情報を求めているという声を多くいただき、訪日旅行に対する米国内でのニーズや関心は継続して高い水準であることを認識できた。今後もコロナの状況に応じて、オンライン・オフラインの選択をしながら、引き続き訪日情報を発信できる機会を提供していきたいと考えている。

【Japan Showcase エージェントアンケート抜粋】

今後、新規に訪日旅行を取り扱う/商品を充実させるために主に何が必要ですか。(複数回答可)

高コミッション	65
ツアーオペレーターからの情報および商品数の増加	154
商品情報入手機会の増加	166
仕入れ先(サプライヤー)の柔軟な受け入れ態勢	118
顧客の訪日意欲	145
その他	43